

アデカ製品をご使用になられる皆様へ

- ・アデカ製品の取り扱いにおいて、化学物質による事故防止の為、当社発行のSDS（安全データシート）を充分にご活用ください。
- ・本カタログ上での製品の試験データは、当社試験法または規定の特定条件下で得られた測定値の代表例です。
- ・本カタログの仕様・外観は、商品改良などの理由により、予告なく変更する事がありますので予めご了承ください。
- ・本カタログに記載の用途は、本製品の当該用途への適用結果を保証するものではありません。
- ・本カタログでご紹介した用途への使用に際しては、知的財産権にもご注意ください。
- ・本カタログの製品に関する記載内容は化粧品原料としての特性であり、試験データは化粧品原料としての測定値です。最終製品での効能効果や安全性を保証するものではありません。・広告物への引用・転載についてはご注意ください。

※なお、カタログ内容上ご不明な点、及び詳細データについては、当社研究室または担当営業部署までお問い合わせください。

化粧品原料

COSMETIC MATERIALS



株式会社 **ADEKA**

<http://www.adeka.co.jp>

本 社（機能ケミカル営業部）	東京都荒川区東尾久7-2-35	〒116-8554	Tel. (03) 4455-2833
大阪支社	大阪市北区曾根崎二丁目12番7号 清和梅田ビル17F	〒530-0057	Tel. (06) 6123-4222
機能化学品開発研究所	東京都荒川区東尾久7-2-34	〒116-8553	Tel. (050) 5518-4336
ライフサイエンス材料研究所	東京都荒川区東尾久7-2-34	〒116-8553	Tel. (03) 4455-2829



化粧品原料

COSMETIC MATERIALS

当社の化粧品原料は、プロピレングリコールやDPGなどの汎用原料から、水系ゲル化剤や化粧品用グリコールなどの機能性原料、加えて、発酵・培養技術の応用により開発された天然由来機能性成分まで幅広い製品を取り揃えております。

本カタログは、当社の代表的な製品の特長・用途をまとめたものであります。個々の製品のご案内については、別途用意しておりますのでご利用ください。

目次 CONTENTS

- 2 … 水系ゲル化剤
(アデカノール GT-700/GT-730/GT-930)
- 4 … 化粧品用グリコール
(アデカノール NHG/CHG/OG)
- 6 … 保湿成分
(プロピレングリコール/DPG-RF/TPG-H/
アデカノールBP・DP・TPシリーズ)
- 8 … 天然由来機能性成分
(アデカルミナケアBLQ-S/MVL/MVA)
- 12 … 機能性界面活性剤
(アデカカーポールMD-100/アデカコールCC/
アデカカチオエースPD-50/アデカ®プルロニック)
- 15 … 製品一覧

1 水系ゲル化剤

アデカノール GT-700/GT-730

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

高弾力でありながらスプレー吐出性にも優れたゲルを形成します。ノニオン型ポリマーですので塩耐性、pH耐性に優れています。ゲルを崩しても元に戻る表面平滑性があります。

製品名	性状	有効分	表示名称	荷姿
アデカノール GT-700	白色～淡黄色固体	100%	(PEG-240/デシルテトラデセス-20/HDI) コポリマー	20kg /袋
アデカノール GT-730	無色透明～淡黄褐色液状	30%	(PEG-240/デシルテトラデセス-20/HDI) コポリマー、BG、水	20kg /缶

キャリアオーバー成分あり

■ 表面平滑性

ゲルを崩しても速やかに元の状態に戻ります。

GT-730 : 5%aq.



撈拌直後



30秒後

■ 水溶液のレオロジー特性

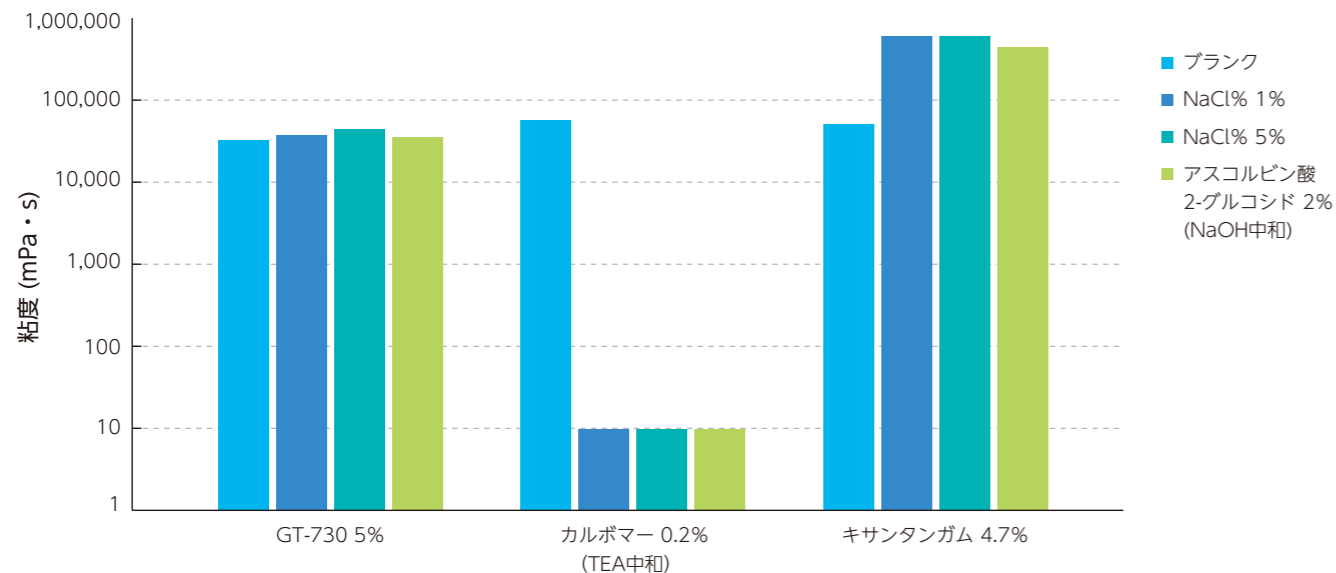
チクソトロピー性のあるゲルを形成します。

スプレー吐出性も良好で、微細なミストを形成します。



■ 塩耐性

有機塩・無機塩問わず耐性を示します。



アデカノール GT-930

■ 特徴

GT-700/730と比較して、乳化安定性・粉体分散性に優れており、さらに、BGなどの多価アルコールとの併用にも適しています。ノニオン型ポリマーですので塩耐性、pH耐性にも優れています。



製品名	性状	有効分	表示名称	荷姿
アデカノール GT-930	淡黄色～淡黄褐色液状	30%	ポリウレタン-59、BG、水	20kg/缶

キャリアオーバー成分あり

■ 粉体の分散安定化

比重の高い粉体をゲル中に安定分散します。

	(i)	(ii)
GT-930	2.7(有効分0.8)	—
GT-730	—	2.7(有効分0.8)
水	92.3	92.3
TiO ₂	5.0	5.0

(i) GT-930 (ii) GT-730



3ヶ月以上安定 TiO₂が1週間で沈降

<調製法>

1. 予め調製したゲルにTiO₂を加え、ディスパー5,000rpmで50℃下、30分撈拌。
2. 撈拌を続けたまま、室温付近まで冷却。
3. 25℃恒温槽での安定性を確認。

■ 乳化安定性

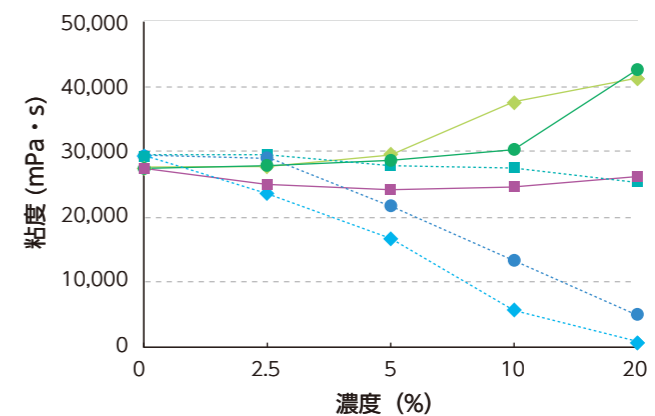
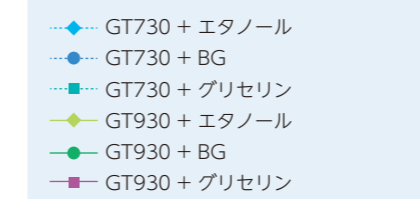
安定なO/Wエマルジョンを調製することができます。

		I	II
A	GT-930	3.3(有効分1.0)	1.0(有効分0.3)
	BG	3.2	1.0
	水	63.5	28.0
B	流動パラフィン	30.0	70.0
保存安定性 3ヶ月	40℃	○	○
	25℃	○	○

○ : 安定

■ 多価アルコールとの併用

GT-700/730と比較して、GT-930は多価アルコールと併用する処方での減粘を抑えることができます。



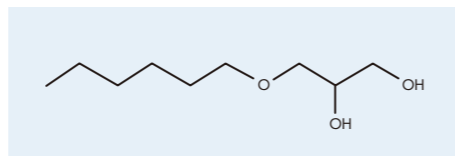
・本カタログの製品に関する記載内容は化粧品原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値です。最終製品での効能効果や安全性を保障するものではありません。・広告物への引用・転載についてはご注意ください。

2 化粧品用グリコール

アデカノール NHG

■ 特徴

パラベンフリー処方に有用な低刺激性のグリコール化合物です。
水溶性が高いため、油系製剤中でも油相に分配されにくい成分です。
非イオン性成分のため、幅広いpH領域で使用が可能です。



製品名	性状	純度	表示名称	荷姿
アデカノール NHG	無色～淡黄色液状	≥99.0%	ヘキシルグリセリン	17kg/缶 180kg/ドラム

キャリアオーバー成分あり

■ 最小発育阻止濃度【MIC(%)】と水溶性

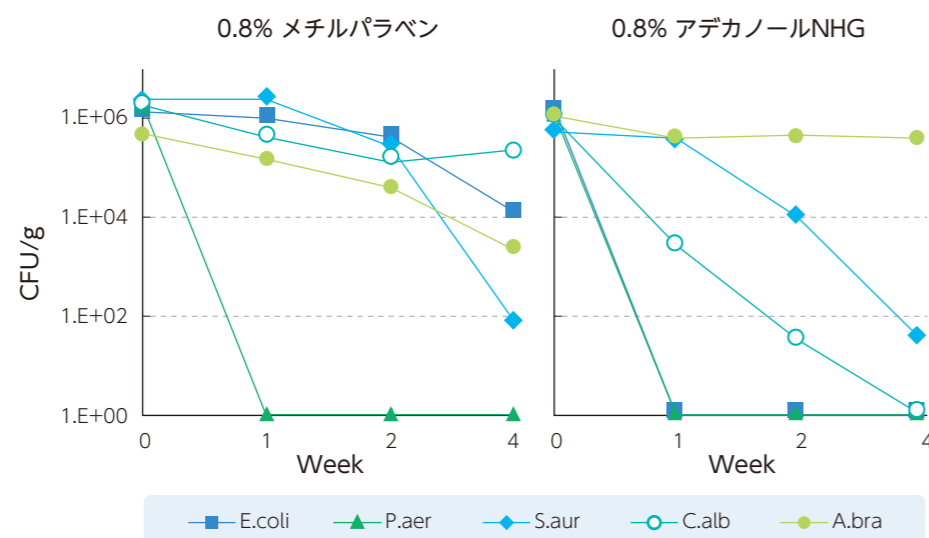
NHGは、水溶性とMICのバランスに優れています。
水溶性が高いため、可溶化剤なしで透明系製剤に配合することが可能です。

	アデカノール NHG	メチルパラベン	カプリリルグリコール	エチルヘキシルグリセリン
<i>E.coli</i>	0.38	0.19	0.13	0.25
<i>P.aeruginosa</i>	1.00	0.25	0.38	>1.00
<i>S.aureus</i>	0.75	0.38	0.38	0.19
<i>C.albicans</i>	0.38	0.13	0.25	0.19
<i>A.brasiliensis</i>	0.19	0.06	<0.09	<0.09
水溶性(%)	1.0	0.2	0.3	0.2

■ 保存効力試験

・試験処方

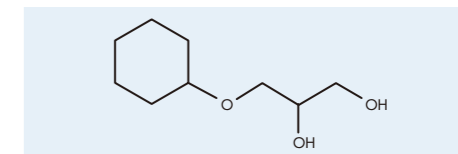
成分	(%)
2-エチルヘキサン酸トリグリセリド	20.0
テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルビット(30EO)	4.0
グリセリン	0.2
セトステアリアルアルコール	0.2
(アクリレート/アクリル酸アルキル(C10-30))クロスポリマー-Na	0.1
メチルパラベンまたはアデカノールNHG	0.8
水	残部



アデカノール CHG

■ 特徴

極めて低い刺激性と高水溶性を併せ持つグリコール化合物です。
他の成分と併用することにより、相乗効果が期待できます。
水に対して任意の濃度で相溶するため、透明系の水系製剤に適しています。



製品名	性状	純度	表示名称	荷姿
アデカノール CHG	無色～淡黄色液状	≥99.0%	シクロヘキシルグリセリン	17kg/缶 180kg/ドラム

キャリアオーバー成分あり

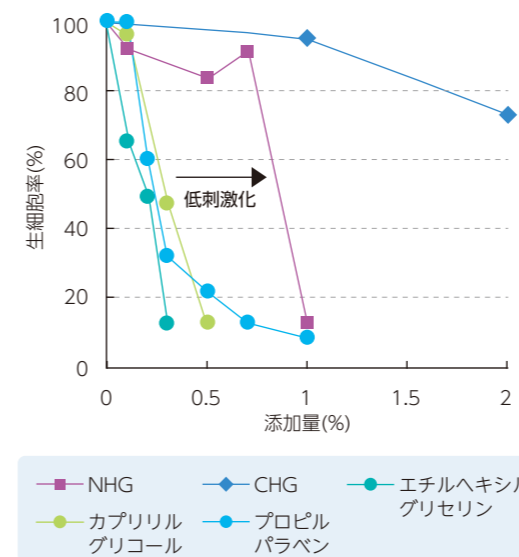
■ 最小発育阻止濃度【MIC(%)】と水溶性

CHGは、1,2-ヘキサジオールやペンチレングリコールと同等のMIC・水溶性を有しています。

	アデカノール CHG	フェノキシエタノール	1,2-ヘキサジオール	ペンチレングリコール
<i>E.coli</i>	1.00	0.50	1.00	3.00
<i>P.aeruginosa</i>	1.50	0.50	1.00	2.00
<i>S.aureus</i>	3.00	1.00	>2.00	5.00
<i>C.albicans</i>	1.00	0.50	1.50	2.50
<i>A.brasiliensis</i>	1.00	0.30	1.00	2.00
水溶性(%)	◎	2.7	◎	◎

◎: 任意に相溶

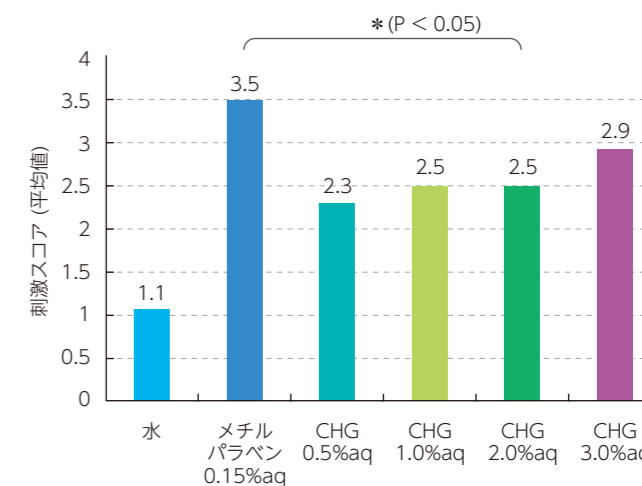
■ 刺激性



＜試験方法＞

J-TEC社製ヒト3次元培養表皮モデルを使用。37℃、24時間暴露後の生細胞率をMTTアッセイ法にて測定。

■ スティンギング



＜試験方法＞

スティンギング刺激を認知できる被験者15名。コットンに含ませたものを頬骨の上で30分静置。

＜刺激スコア＞

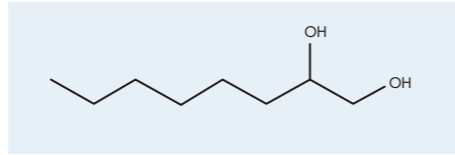
1(無刺激) → 5(強刺激)

アデカノール OG

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

各種細菌および真菌に対して低いMICを示し、幅広い製剤の防腐剤フリー化を可能にします。また、DPGやBGと併用することによって水への溶解性が向上します。



製品名	性状	純度	表示名称	荷姿
アデカノール OG	透明液状または白色固体 (融点：33℃ 凝固点：15℃)	≥98.0%	カプリリルグリコール	16kg/缶 180kg/ドラム

■ 最小発育阻止濃度【MIC(%)】

	アデカノール OG	メチルパラベン	フェノキシエタノール
<i>E.coli</i>	0.13	0.19	0.50
<i>P.aeruginosa</i>	0.38	0.25	0.50
<i>S.aureus</i>	0.38	0.38	1.00
<i>C.albicans</i>	0.25	0.13	0.50
<i>A.brasiliensis</i>	<0.09	0.06	0.30

3 保湿成分

プロピレングリコール、DPG-RF、TPG-H

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

プロピレングリコールはプロピレンオキシドを水和して得られる製品です。当社がわが国で初めて工業化しました。

無色かつ殆ど無臭の液体で水よりも重く、粘稠で、沸点が高く凝固点は低い性質を持っています。

医薬品、医薬部外品、化粧品、食品工業など幅広い用途があります。

製品名	性状	表示名称	荷姿	機能・特徴
プロピレングリコール	透明液状	PG	18kg/缶 200kg/ドラム	保湿性、低臭気
DPG-RF	透明液状	DPG	18kg/缶 200kg/ドラム	保湿性、低臭気、 低刺激
TPG-H	透明液状	トリプロピレングリコール または PPG-3	18kg/缶 200kg/ドラム	保湿性、低臭気、 低刺激

アデカノールBP・DP・TPシリーズ

■ 特徴

重合技術をもとに製造されたポリオキシアルキレングリコールタイプのエモリエント剤です。

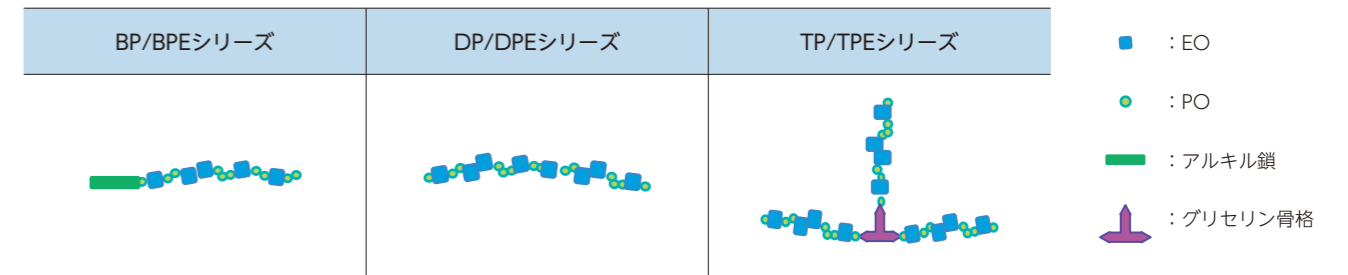
EO/POの比率を変えることによって様々な性能が得られるので、感触・使用感の改良に適しています。

製品名	性状	表示名称	荷姿	構成単位
アデカノール BPシリーズ	無色～ 淡黄色液状	PPG-XXブチル*	18kg/缶 200kg/ドラム	POのみ
アデカノール BPEシリーズ		PPG-XXブテス-YY*	18kg/缶 200kg/ドラム	EO・PO
アデカノール DPシリーズ		PPG-XX*	18kg/缶 200kg/ドラム	POのみ
アデカノール DPEシリーズ		PEG/PPG-YY/XXコポリマー*	18kg/缶 200kg/ドラム	EO・PO
アデカノール TPシリーズ		PPG-XXグリセリル*	18kg/缶 200kg/ドラム	POのみ
アデカノール TPEシリーズ		PPG-XXグリセレス-YY*	18kg/缶 200kg/ドラム	EO・PO

* 各製品の表示名称については後頁の製品一覧をご確認ください。
※ 医薬部外品への配合についてはお問合せください。

■ 構造と性能

親水基(EO)/疎水基(PO)の比率を変えることにより、性能をコントロールすることが可能です。



構成単位	溶解性	粘度	得られる感触
EO	水溶性が向上	高くなる	しっとり、重め
PO	油溶性が向上	低くなる	油性感、滑らか

4 天然由来機能性成分

■ アデカルミナケア Bシリーズ

■ 特徴：天然由来、保湿、UV保護

日本の伝統食から分離した黒酵母(ADK-34株)を食品原料で培養した発酵液です。
水溶性の多糖であるβ-1,3-1,6-グルカンを高濃度に含有し、高い保湿性とさっぱりとした使用感があります。

製品名	性状	含有量規格	表示名称	荷姿
アデカルミナケア BLQ-S	無色又は白濁した粘稠な液体	β-1,3-1,6-グルカン 0.8%以上	アウレオバシジウムプルランス培養物、フェノキシエタノール**、エチルヘキシルグリセリン**	1kg/ポリボトル

** キャリーオーバー成分

■ 用途

化粧水、美容液、乳液、クリーム剤等のスキンケア化粧品に配合いただけます。

■ 推奨配合量

0.1%~1%(アデカルミナケアBLQ-Sとして)

■ 安定性

高温(50℃)保存でも長期間成分変化がなく、乳液や酸化チタン等の分散液の安定性を補助します。

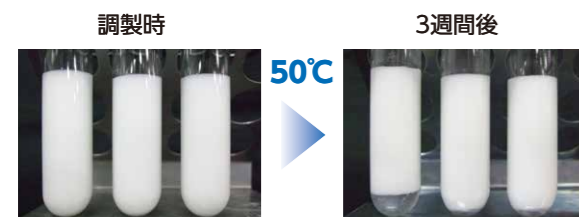
■ 50℃保存におけるBLQ-Sの粘度

	保存前	50℃4週間後
粘度(mPa・s)	2870	2910

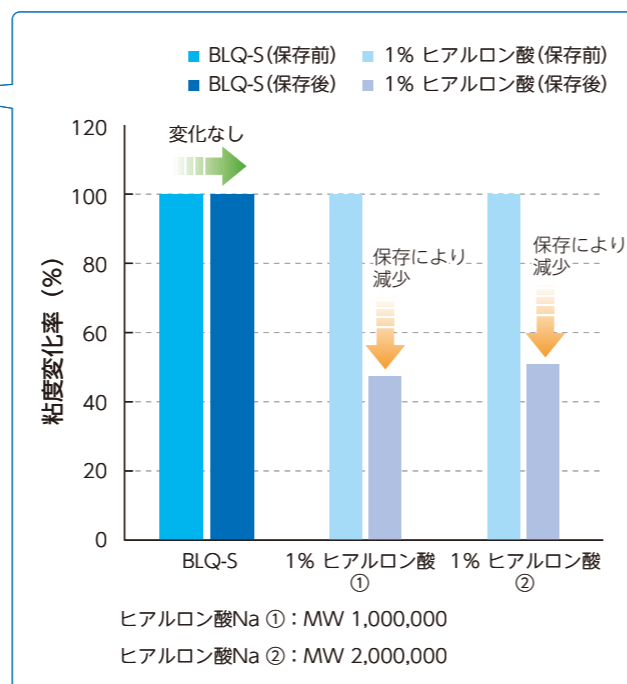
<試験方法>

保存前および50℃保存後のBLQ-SをB型粘度計(コーンプレート, 1rpm)で測定した。

■ 50℃保存におけるBLQ-Sの乳化安定補助

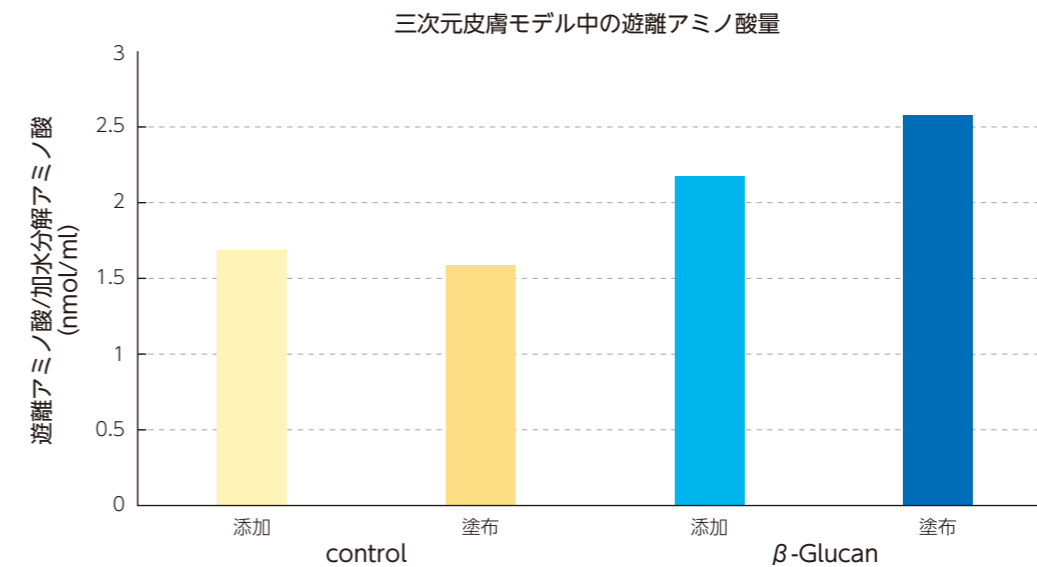


左から、未添加、BLQ-S 0.1%添加、BLQ-S 1%添加



■ 遊離アミノ酸 (天然保湿因子) の産生

・β-1,3-1,6-グルカンは、ヒト培養皮膚モデルに加えると、細胞中の遊離アミノ酸を増加させることがわかりました。

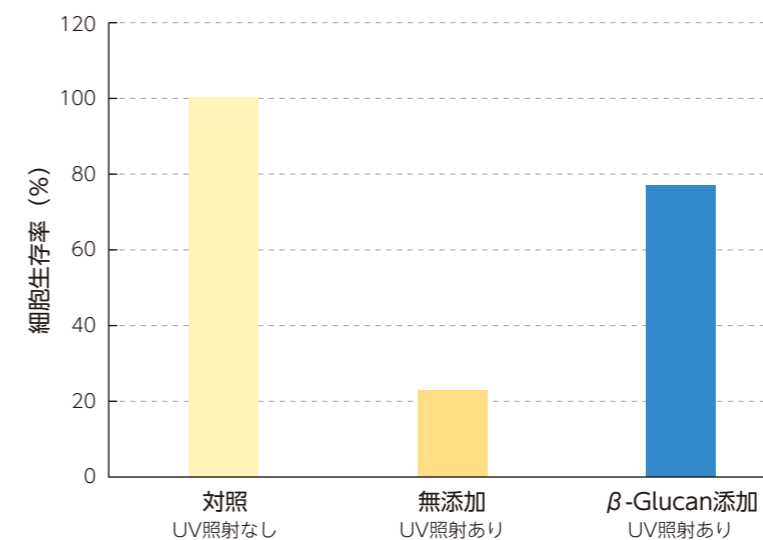


<試験方法>

アウレオバシジウムプルランス培養液を三次元皮膚モデルに添加または塗布して培養(添加量はβ-1,3-1,6-グルカンとして0.1%)した後、アミノ酸を抽出、定量した。β-1,3-1,6-グルカンは、皮膚モデル中の遊離アミノ酸を増加させた。

■ UVダメージ保護

・β-1,3-1,6-グルカンを細胞培養の培地に添加しておくこと、UV照射によりダメージを受ける細胞が減少しました。



<試験方法>

アウレオバシジウムプルランス培養液をヒト角膜上皮細胞の培養液に添加(β-1,3-1,6-グルカンとして0.1%)した後、UV-Bを60秒間照射。24時間培養後の細胞数をギムザ染色法にて計測、細胞の生存率を算出した。β-1,3-1,6-グルカンは、UV照射により減少する細胞の生存率を増加させた。

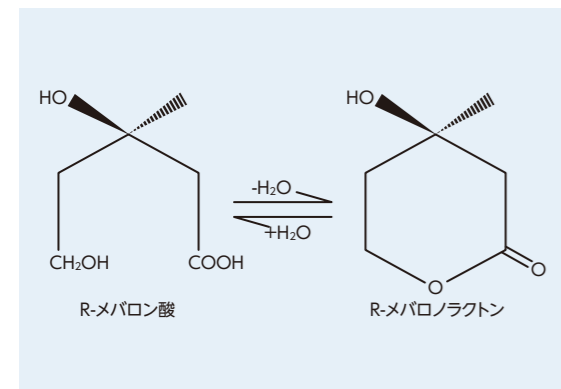
■ 特徴：天然由来、保湿、バリア機能維持、エイジングケア

メバロノラク톤は清酒中の成分として1956年に発見され、植物や動物のテルペノイド生合成の重要な中間体です。その発見以来、メバロノラク톤の様々な機能がわかってきていますが、ADEKAはメバロノラク톤を高生産する酵母を発見し、発酵法で天然型のメバロノラク톤を製造しています。

製品名	性状	含有量規格	表示名称	荷姿
アデカルミナケア MVL	淡黄色 ～ 淡褐色粘性液体	97.0%以上	メバロノラク톤、 フェノキシエタノール**	100g/褐色ガラス瓶 1kg/褐色ガラス瓶
アデカルミナケア MVA			メバロノラク톤	

** キャリーオーバー成分

■ 構造式



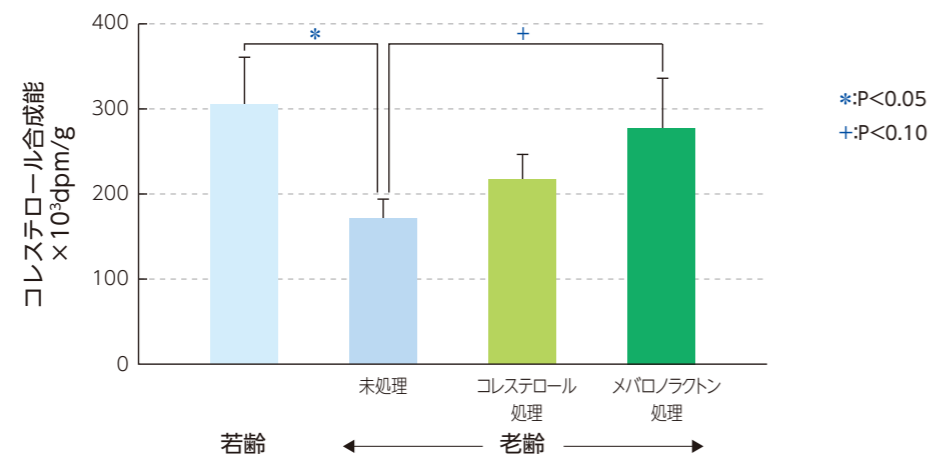
メバロノラク톤は水中では開環してメバロン酸になります。

■ 推奨配合量

0.05% ~ 1%

■ コレステロール生合成

メバロノラク톤は、細胞間脂質成分のコレステロール合成能を維持します。



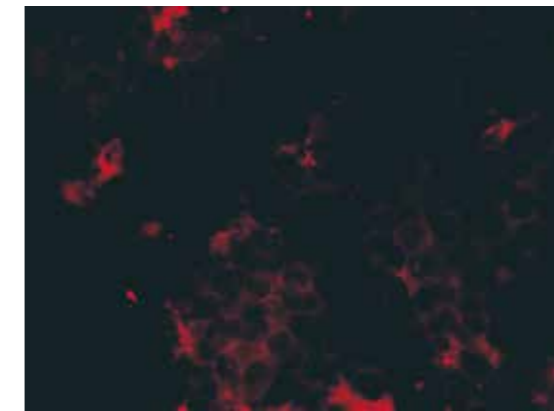
出典：J. Invest. Dermatol. 114, 247-252 (2000)

■ 生体のメバロン酸代謝

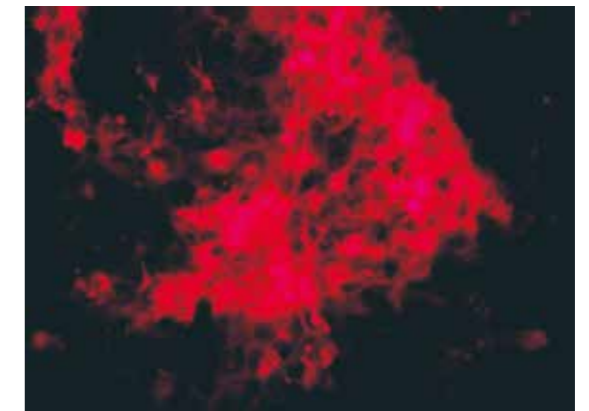


■ 遊離脂肪酸の生合成

メバロノラク톤は、細胞中の脂質(遊離脂肪酸)を増加させることがわかりました。



無添加



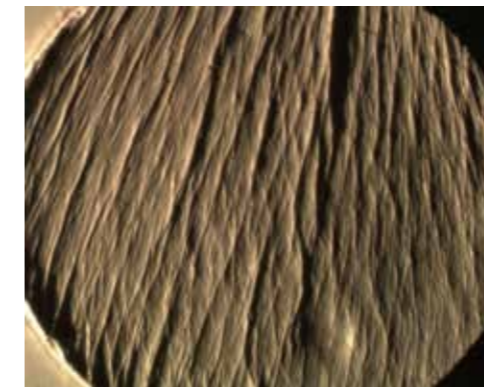
メバロノラクトン 0.05%添加

<試験方法>

表皮角化細胞の培養液にメバロノラク톤を0.05%添加して、24時間培養後、細胞中の脂質を染色(Nile red)して蛍光観察した。

■ 長期塗布試験結果

被験者 : 20歳~60歳の健康人24名 (敏感肌・アトピー性皮膚炎患者は除外)
 試験サンプル : (A)メバロノラクトン0.05%+β-グルカン0.1% (B)対照クリーム(Placebo)
 塗布条件 : 1日2回 洗顔後 半顔に塗布 (試験期間中、他の化粧品の使用を禁止)
 試験期間 : 8週間



レプリカ写真

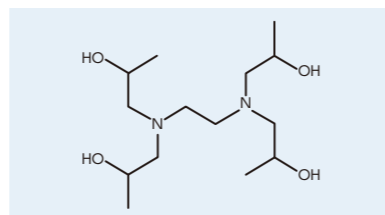
5 機能性界面活性剤

アデカカーポール MD-100

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

水溶性のアルカノールアミンで、低刺激性かつ安全性の高い成分です。
水やエタノールに任意に溶解し、水溶液は弱アルカリ性を示します。
脂肪酸・有機酸・カルボマー等の中和やpH調整に使用できます。



製品名	性状	純度	表示名称	荷姿
アデカカーポール MD-100	透明液状	100%	テトラヒドロキシプロピルエチレンジアミン	18kg/缶

■ 石鹼の流動性

脂肪酸をMD-100で中和することにより、トリエタノールアミン(TEA)中和品と比較して、流動性に優れた石鹼を調製できます。

	MD-100	TEA
ステアリン酸	無色ペースト状	白色固体
オレイン酸	淡黄色液状	赤色ペースト状
パルミチン酸	淡黄色液状	白色固体
ミリスチン酸	淡黄色液状	白色固体
ラウリン酸	淡黄色液状	白色固体

ミリスチン酸中和物



MD-100 TEA

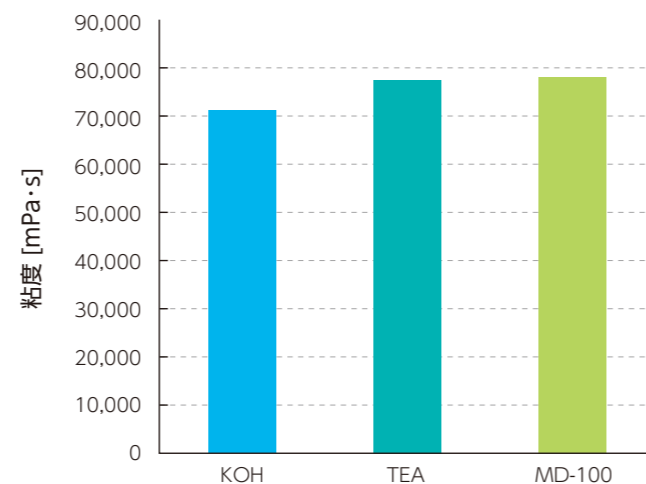
中和等量比 COOH/N = 1/1.6(mol/mol)

■ カルボマーの中和

カルボマーをMD-100で中和した場合、TEA中和品とほぼ同等の粘度・使用感が得られます。

<試験方法>

0.5%カルボマー水溶液に対してpH=6.5となるように添加・混合し、粘度を測定した。

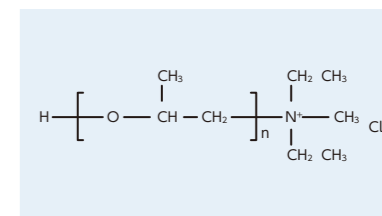


アデカコール CCシリーズ

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

疎水基にPPG鎖を持つカチオン界面活性剤です。
アニオン界面活性剤と広範な比率で相溶できます。
シャンプーなど液体洗浄剤の低温流動性を向上させることができます。
タンパク変性緩和作用があり、皮膚刺激性を緩和する効果が期待できます。
また、香りを持続させる効果に優れています。



製品名	性状	純度	表示名称	荷姿
アデカコール CC-36	透明液状	100%	PPG-25ジエチルモニウムクロリド	18kg/缶
アデカコール CC-42			PPG-40ジエチルモニウムクロリド	

■ 残香性

残香性	香りが強いサンプルを官能にて選択 (比較)		
	アデカコールCC-36 配合が良好	わからない	アデカコールCC-36 未配合が良好
官能評価	9人	1人	0人

<試験方法>

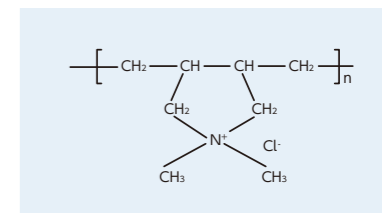
市販のタオル(95cm×25cm、綿100%、重量:58g)にて、洗剤(市販)及びアデカコールCC-36を3%添加/未添加のフローラル系柔軟剤(市販)を用い洗濯。乾燥1日後のタオルの香り(残香性)を官能評価(10人)にて比較した。

アデカカチオエース PD-50

<医薬部外品 対応>

■ 特徴

帯電防止効果・柔軟効果に優れた高カチオン化度重合体で、特に皮膚洗浄用・毛髪用化粧品に適しています。
増泡効果・泡質改善に加え、肌や髪へのコンディショニング効果が期待できます。

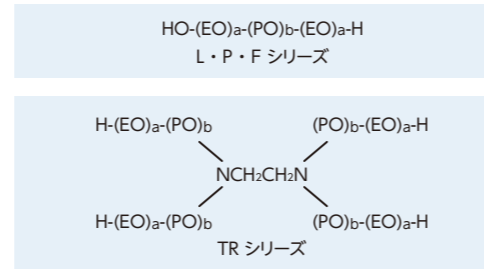


製品名	性状	有効分	表示名称	荷姿
アデカカチオエース PD-50	透明液状	40%	ポリクオタニウム-6、水	18kg/缶

アデカ®プルロニック シリーズ

■ 特徴

ポリプロピレングリコールにポリエチレングリコールを付加した高分子型の非イオン界面活性剤で、その比率と分子量を適宜選択することにより、様々な特性を付与することができます。皮膚や眼に対する刺激性が少なく、全般に低起泡性です。TRシリーズはエチレンジアミンをベースとしているため、わずかにカチオンの性質を示します。

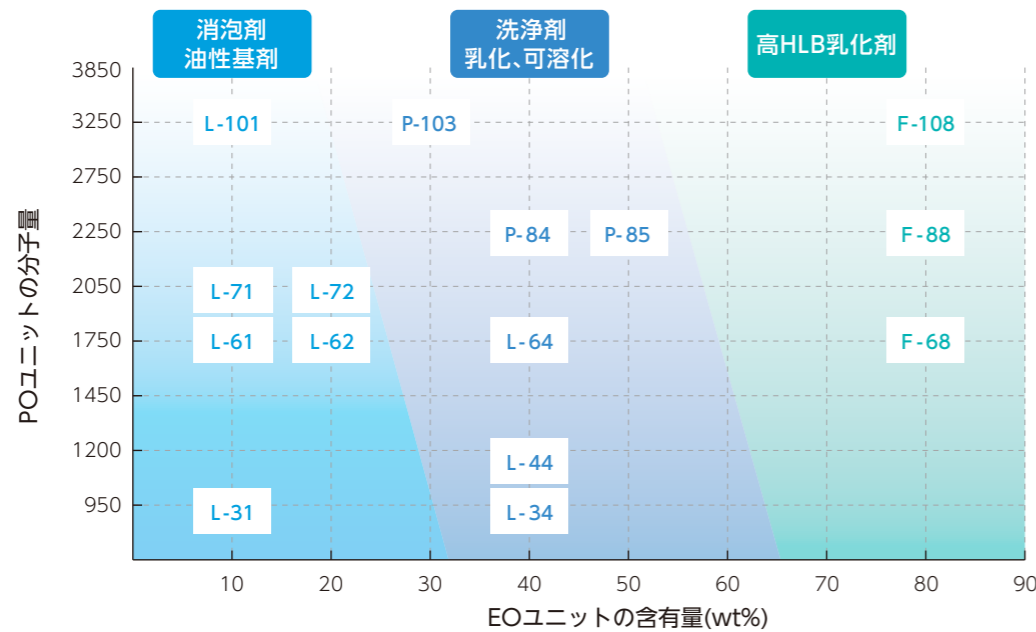
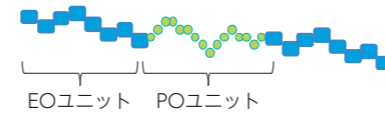


製品名	性状	表示名称	荷姿
アデカ®プルロニック Lシリーズ	無色～淡黄色液状	ポロキサマーXXX* または PEG/PPG-YY/ZZコポリマー*	18kg/缶 200kg/ドラム
アデカ®プルロニック Pシリーズ	白色ペースト状		18kg/缶 200kg/ドラム
アデカ®プルロニック Fシリーズ	白色固体		15kg/袋
アデカ®プルロニック TRシリーズ	無色～淡黄色液状	ポロキサミンXXX*	18kg/缶 200kg/ドラム

* 各製品の表示名称については後頁の製品一覧をご確認ください。
※ 医薬部外品への配合についてはお問合せください。

■ 機能別分布

L・P・Fシリーズは、親水基(EOユニット)/疎水基(POユニット)の分子量の組合せにより、以下のような性質を示します。



6 製品一覧

	製品名	表示名称	INCI Name	中文名称	医薬部外品
水系 ゲル化剤	アデカノール GT-700	(PEG-240/デシルテトラデセス-20/HDI)コポリマー	PEG-240/HDI Copolymer Bis-Decyltetradeceth-20 Ether	○	○
	アデカノール GT-730	(PEG-240/デシルテトラデセス-20/HDI)コポリマー、BG、水	PEG-240/HDI Copolymer Bis-Decyltetradeceth-20 Ether、Butylene Glycol、Water	○	○
	アデカノール GT-930	ポリウレタン-59、BG、水	Polyurethane-59、Butylene Glycol、Water	-	-
化粧品用 グリコール	アデカノール NHG	ヘキシルグリセリン	Hexylglycerin	-	-
	アデカノール CHG	シクロヘキシルグリセリン	Cyclohexylglycerin	-	-
	アデカノール OG	カプリリルグリコール	Caprylyl Glycol	○	○
保湿成分	プロピレングリコール	PG	Propylene Glycol	○	○
	DPG-RF	DPG	Dipropylene Glycol	○	○
	TPG-H	トリプロピレングリコールまたはPPG-3	Tripropylene Glycol or PPG-3	○	○
	アデカノール BP-12	PPG-12ブチル	PPG-12 Butyl Ether	○	※
	アデカノール BP-20	PPG-20ブチル	PPG-20 Butyl Ether	○	※
	アデカノール BP-33	PPG-33ブチル	PPG-33 Butyl Ether	○	※
	アデカノール BPE-21	PPG-2ブテス-1	PPG-2-Buteth-1	○	※
	アデカノール BPE-44	PPG-4ブテス-4	PPG-4-Buteth-4	○	※
	アデカノール BPE-912	PPG-9ブテス-12	PPG-9-Buteth-12	-	※
	アデカノール BPE-1520	PPG-15ブテス-20	PPG-15-Buteth-20	○	※
	アデカノール BPE-2835	PPG-28ブテス-35	PPG-28-Buteth-35	○	※
	アデカノール BPE-3345	PPG-33ブテス-45	PPG-33-Buteth-45	○	※
	アデカノール DP-7	PPG-7	PPG-7	○	○
	アデカノール DP-13	PPG-13	PPG-13	-	※
	アデカノール DP-17	PPG-17	PPG-17	-	○
	アデカノール DP-34	PPG-34	PPG-34	○	※
	アデカノール DPE-624	PEG/PPG-240/60コポリマー	PEG/PPG-240/60 Copolymer	○	※
アデカノール TP-6	PPG-6グリセリル	PPG-6 Glyceryl Ether	-	※	
アデカノール TP-10	PPG-10グリセリル	PPG-10 Glyceryl Ether	○	※	
アデカノール TP-24	PPG-24グリセリル	-	-	※	
アデカノール TPE-2424	PPG-24グリセレス-24	PPG-24-Glycereth-24	○	○	
アデカノール TPE-1160	PEG/PPG-60/11グリセリン	PEG/PPG-60/11 Glycerin	-	※	
天然由来 機能性成分	アデカルミナケア BLQ-S	アウレオバジウムプルランス培養物、フェノキシエタノール、エチルヘキシルグリセリン	Aureobasidium Pullulans Ferment、Phenoxyethanol、Ethylhexylglycerin	○	-
	アデカルミナケア MVL	メバロノラクトン、フェノキシエタノール	Mevalonolactone、Phenoxyethanol	○	○
	アデカルミナケア MVA	メバロノラクトン	Mevalonolactone	○	○

* 正式な表示名称・INCI Name・中文名称についてはお問合せください。
※ 医薬部外品への配合についてはお問合せください。

・本カタログの製品に関する記載内容は化粧品原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値です。最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。・広告物への引用・転載についてはご注意ください。

	製品名	表示名称 (主成分)	INCI Name	中文名称	医薬部外品
機能性 界面活性剤	アデカカーポール MD-100	テトラヒドロキシプロピルエチレンジアミン	Tetrahydroxypropyl Ethylenediamine	○	○
	アデカコール CC-36	PPG-25ジエチルモニウムクロリド	PPG-25 Diethylmonium Chloride	○	○
	アデカコール CC-42	PPG-40ジエチルモニウムクロリド	PPG-40 Diethylmonium Chloride	-	○
	アデカカチオエース PD-50	ポリクオタニウム-6	Polyquaternium-6、Water	○	○
	アデカ®プルロニック L-31	PEG/PPG-3/17コポリマー または ポロキサマー101	Poloxamer 101	○	○
	アデカ®プルロニック L-34	PEG/PPG-16/17コポリマー	PEG/PPG-16/17 Copolymer	○	※
	アデカ®プルロニック L-44	PEG/PPG-20/20コポリマー または ポロキサマー124	PEG/PPG-20/20 Copolymer or Poloxamer 124	○	※
	アデカ®プルロニック L-61	PEG/PPG-5/30コポリマー または ポロキサマー181	PEG/PPG-5/30 Copolymer or Poloxamer 181	○	※
	アデカ®プルロニック L-64	PEG/PPG-25/30コポリマー または ポロキサマー184	PEG/PPG-25/30 Copolymer or Poloxamer 184	○	※
	アデカ®プルロニック L-72	-	Poloxamer 212	○	※
	アデカ®プルロニック L-101	ポリキサマー331	Poloxamer 331	○	※
	アデカ®プルロニック L-121	ポリキサマー333	Poloxamer 333	-	※
	アデカ®プルロニック P-84	ポリキサマー234	Poloxamer 234	○	※
	アデカ®プルロニック P-85	PEG/PPG-50/40コポリマー または ポロキサマー235	Poloxamer 235	○	※
	アデカ®プルロニック P-103	ポリキサマー333	Poloxamer 333	○	※
	アデカ®プルロニック F-68	PEG/PPG-150/30コポリマー または ポロキサマー188	PEG/PPG-150/30 Copolymer or Poloxamer 188	○	※
	アデカ®プルロニック F-88	PEG/PPG-200/40コポリマー	Poloxamer 238	○	※
	アデカ®プルロニック F-108	PEG/PPG-300/55コポリマー または ポロキサマー338	PEG/PPG-300/55 Copolymer or Poloxamer 338	○	※
	アデカ®プルロニック TR-701	ポリキサミン701	Poloxamine 701	○	○
	アデカ®プルロニック TR-702	ポリキサミン702	Poloxamine 702	○	※
アデカ®プルロニック TR-704	ポリキサミン704	Poloxamine 704	○	※	
非イオン 界面活性剤	アデカトール LAシリーズ	ラウレス-XX *	Laureth-XX *	*	-
	アデカトール LB-93	PPG-3ラウレス-9	PPG-3-Laureth-9	-	-
	アデカトール TNシリーズ	トリデセス-XX *	Trideceth-XX *	-	-
	アデカトール SOシリーズ	(C12-14)s-パレス-XX *	C12-14 Sec-Pareth-XX *	*	-
	アデカトール OA-7	オレス-7	Oleth-7	○	-
	アデカエステル S-60	ステアリン酸ソルビタン	Sorbitan Stearate	○	-
	アデカエステル S-80	オレイン酸ソルビタン	Sorbitan Oleate	○	-
	アデカエステル T-82	ポリソルベート80	Polysorbate 80	-	-
	アデカエステル OEG-102	オレイン酸PEG-5	PEG-5 Oleate	-	-
	アデカエステル OEG-106	オレイン酸PEG-14	PEG-14 Oleate	-	-

* 正式な表示名称・INCI Name・中文名称についてはお問合せください。
 ※ 医薬部外品への配合についてはお問合せください。

	製品名	表示名称 (主成分)	INCI Name	中文名称	医薬部外品
非イオン 界面活性剤	アデカソール CO	ココミドDEA (1:2)	Cocamide DEA (and) Diethanolamine	-	○
	アデカソール COA	ココミドDEA	Cocamide DEA	○	○
両性 界面活性剤	アデカアンホート PB-30L	ラウラミドプロピルベタイン	Lauramidopropyl Betaine	○	-
	アデカアンホート AB-35L	ラウリルベタイン	Lauryl Betaine	○	-
陰イオン 界面活性剤	アデカホープ YES-25	ラウレス硫酸Na	Sodium Laureth Sulfate	○	-
	アデカホープ MS-30C	ミリスチル硫酸Na	Sodium Myristyl Sulfate	○	-
	アデカコール EC-8600	スルホコハク酸ジエチルヘキシルNa	Diethylhexyl Sodium Sulfosuccinate	○	-
	アデカノール AP-1240E	ラウロイル加水分解コラーゲンNa	Sodium Lauroyl Hydrolyzed Collagen	○	-

* 正式な表示名称・INCI Name・中文名称についてはお問合せください。
 ※ 医薬部外品への配合についてはお問合せください。

・本カタログの製品に関する記載内容は化粧品原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値です。
 最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。・広告物への引用・転載についてはご注意ください。